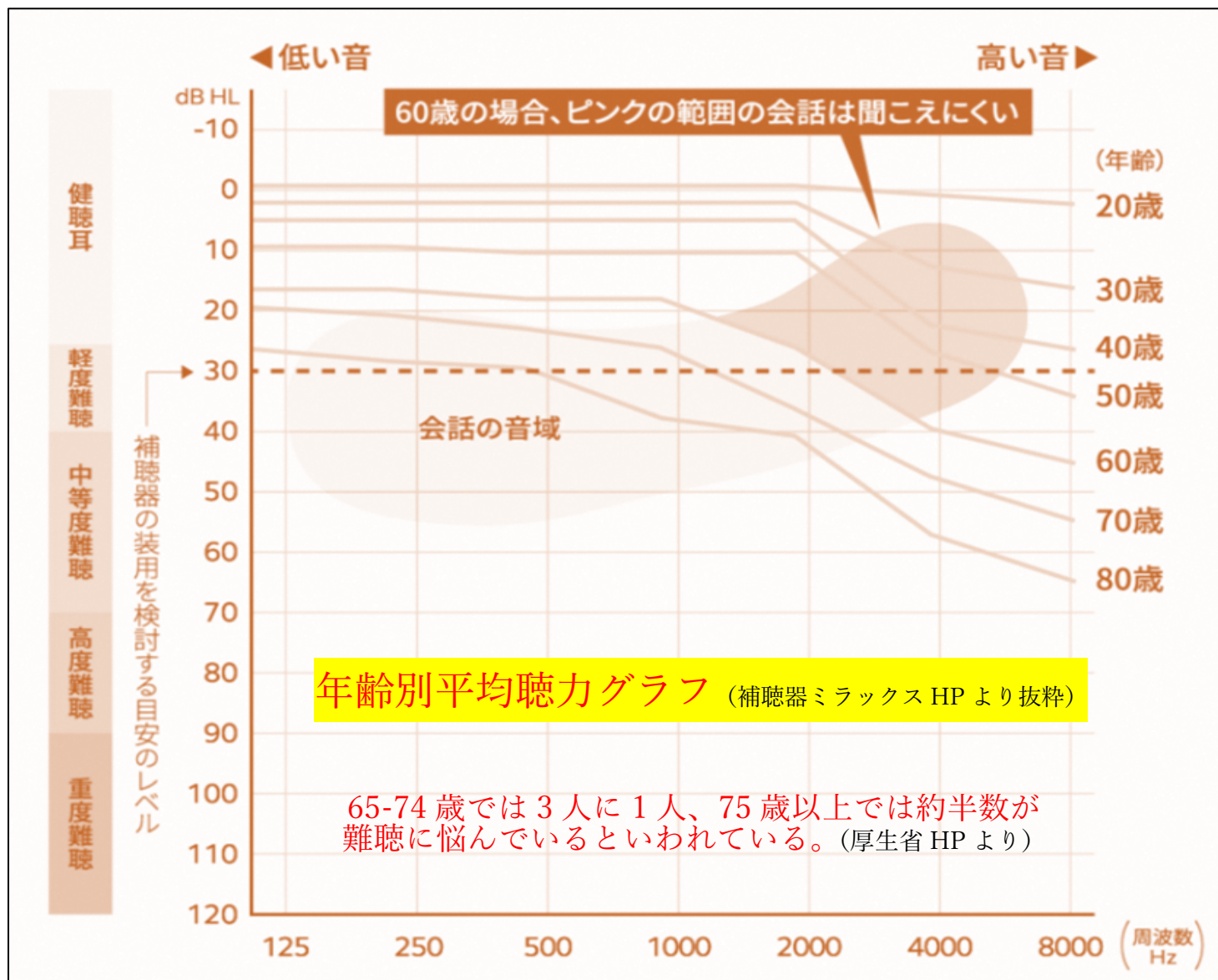


聴覚障害程度の分類

伊場議員資料①

- ・軽度難聴：平均聴力レベル 25 dB 以上 - 40 dB 未満
- ・中等度難聴：平均聴力レベル 40 dB 以上 - 70 dB 未満
- ・高度難聴：平均聴力レベル 70 dB 以上 - 90 dB 未満（障害者認定をされる程度）
- ・重度難聴：平均聴力レベル 90 dB 以上

●中等度の症状：日常会話に支障が出る。できるだけ近くで話を聞こうとする・テレビや動画も大音量でないと聞こえない等の症状がある。また、人との会話が成り立たなくなる可能性もあり、会話が成り立たなくなると不安から、難聴が原因で気持ちが落ち込み、うつ状態になることもある。



●県内の加齢性難聴者への補聴器の購入費助成状況

下関市の取組（購入費の 1/2・上限 30,000 円の補助金を助成）

対象者：市内在住の 65 歳以上

聴覚障害による身体障害者手帳の交付を受けていない

購入希望本人の住民税が非課税

平均聴力レベル中等度難聴と医師が診断し、補聴器の使用を認めるもの

この事業の助成を受けていないもの（助成を受けて 5 年経過している場合は除く）

岩国市の取組（上限 30,000 円の補助金を助成）

対象者：市内在住の 65 歳以上

聴覚障害による身体障害者手帳の交付を受けていない

両耳の聴力レベルが 30 デシベル以上または 30 デシベル未満でも医師が補聴器が必要と認めたもの
過去 5 年間にこの事業の助成を受けていないもの

●東沖緑地

東沖ファクトリーパークと住居地等の間に南北に縦断する形に位置します。盛土の上に緑豊かな樹林帯を設けることによって、視覚遮断、騒音防止、大気浄化などの公害防止効果を得るとともに、レクリエーションの場、そして都市景観の向上などを目的として設置された緑地です。

広さは約 6.1 ヘクタール。広場も多く、テニスコートやジョギングコースもあります。また、窯業が盛んだった当時の硫酸瓶を利用して作った「陶製ウォール」は、本市の風景を表現していて、緑地内でも目を引く存在です。

（山陽小野田市観光ナビより）

●緩衝緑地

大気汚染、騒音、振動、悪臭等の公害防止、緩和若しくはコンビナート地帯等の災害の防止を図ることを目的とする緑地で、公害、災害発源地域と住居地域、商業地域等とを分離遮断することが必要な位置について公害、災害の状況に応じ配置する。（国土交通省 HP より）

●準工業地域

都市計画法による用途地域の一つで、主に環境悪化の恐れのない工業の利便を図る地域。住宅や商店など多様な用途の建物が建てられる用途地域。

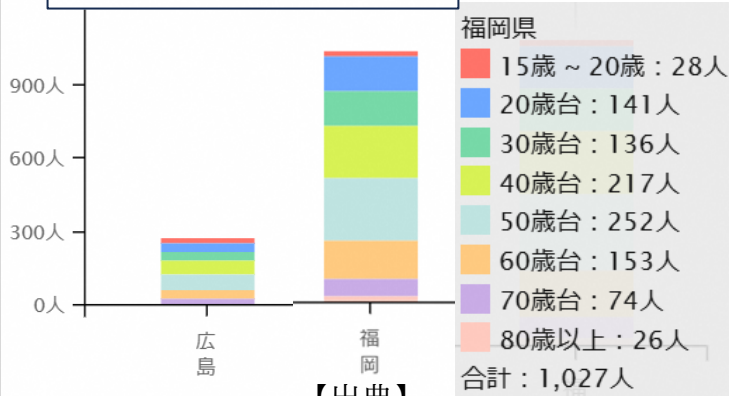
（Wikipedia より）

●工業地域

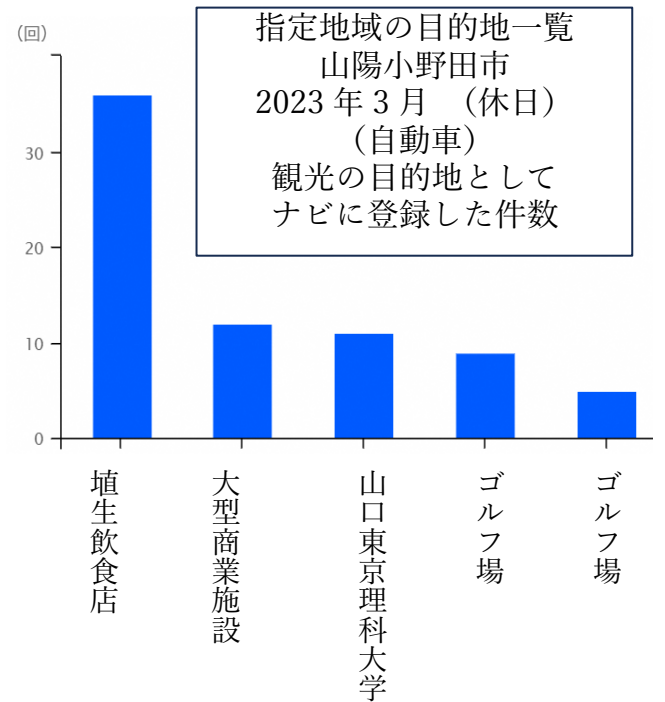
都市計画法による用途地域の一つで、主に工業の業務の利便の増進を図る地域。住宅は建てることができるが、どんな工場でも建てられるため住むには適さない。（Wikipedia より）

山陽小野田市 2023 年 6 月 休日 14 時

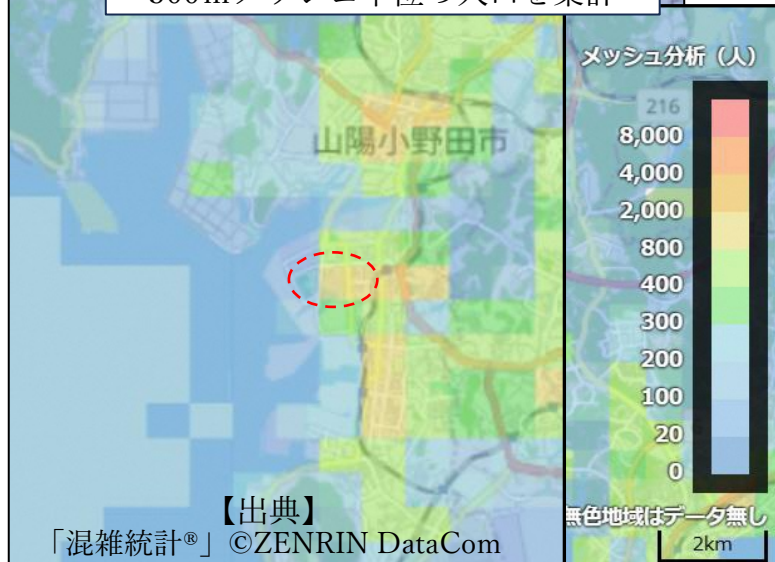
世代別滞在人口（実数）



【出典】

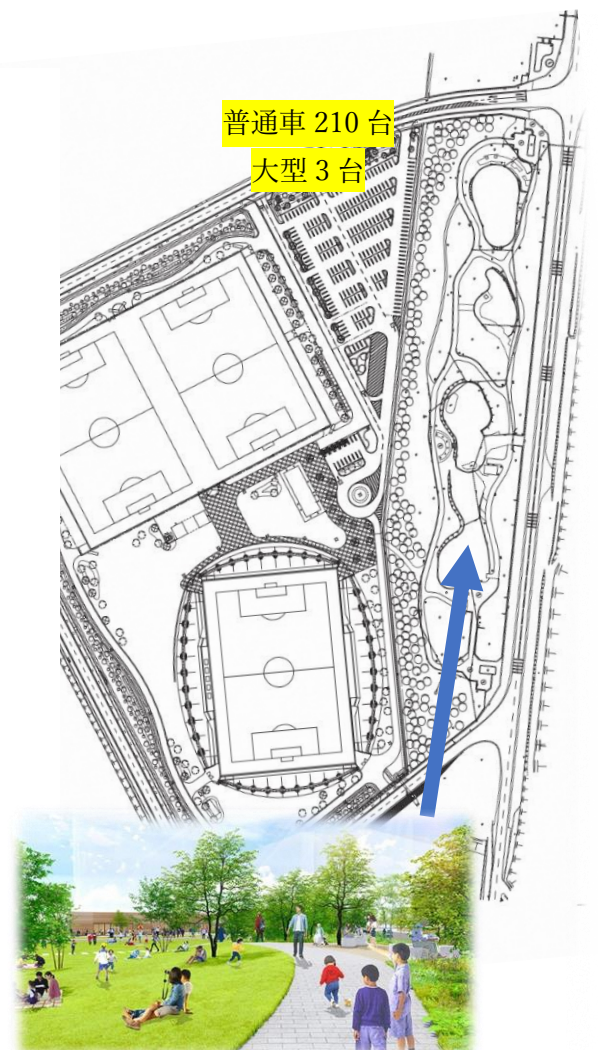
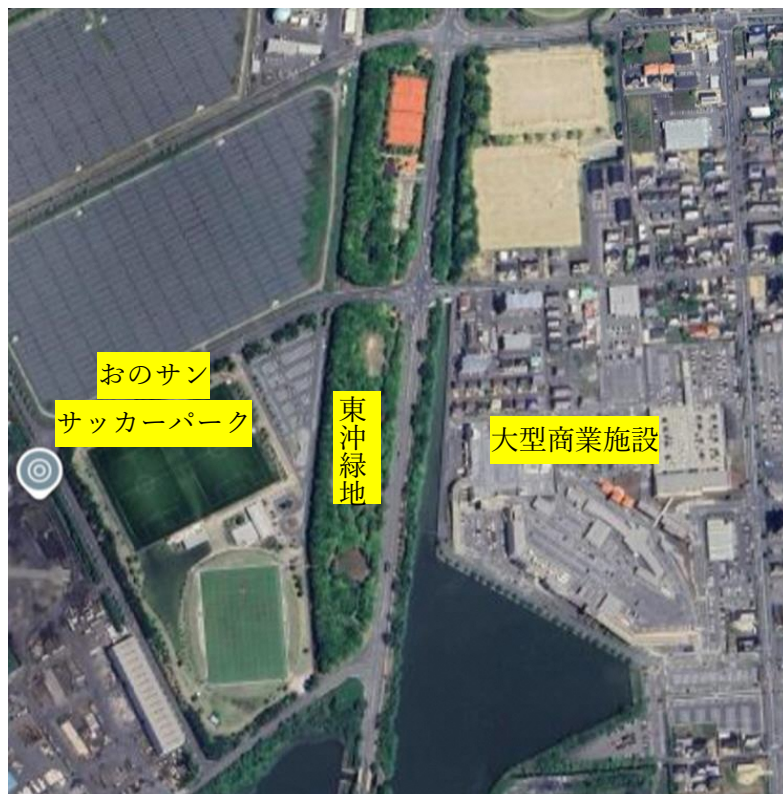
株式会社ドコモ・インサイトマーケティング
「モバイル空間統計®」

【出典】

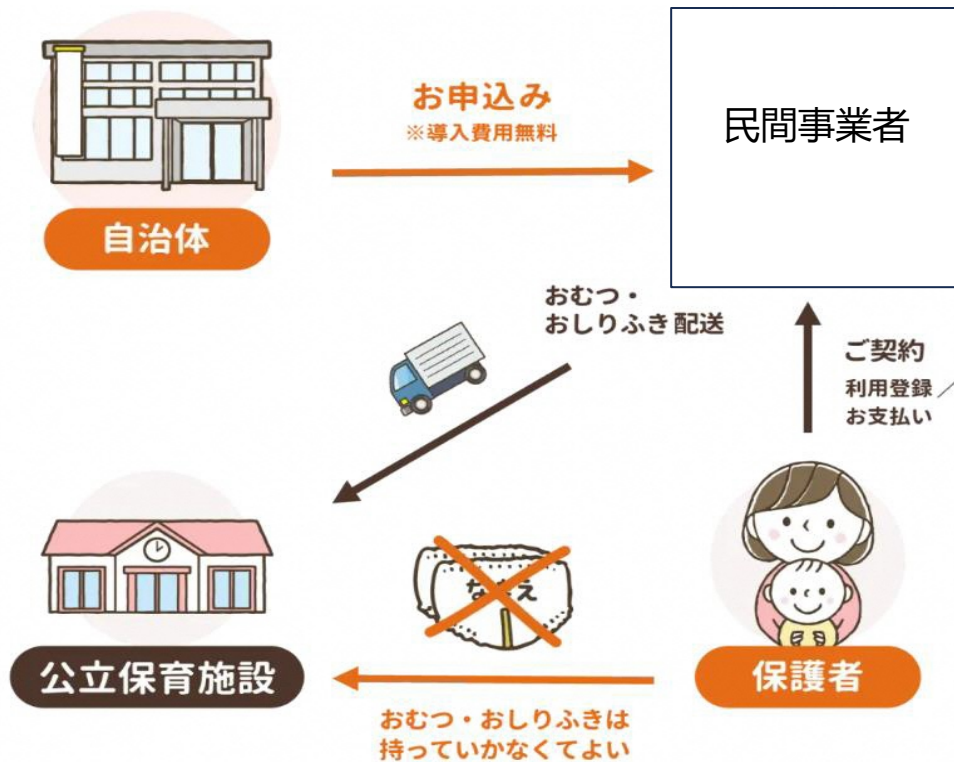
株式会社ナビタイムジャパン
「経路検索条件データ」山陽小野田市 2023 年 3 月 休日
500mメッシュ単位の人口を集計

【出典】

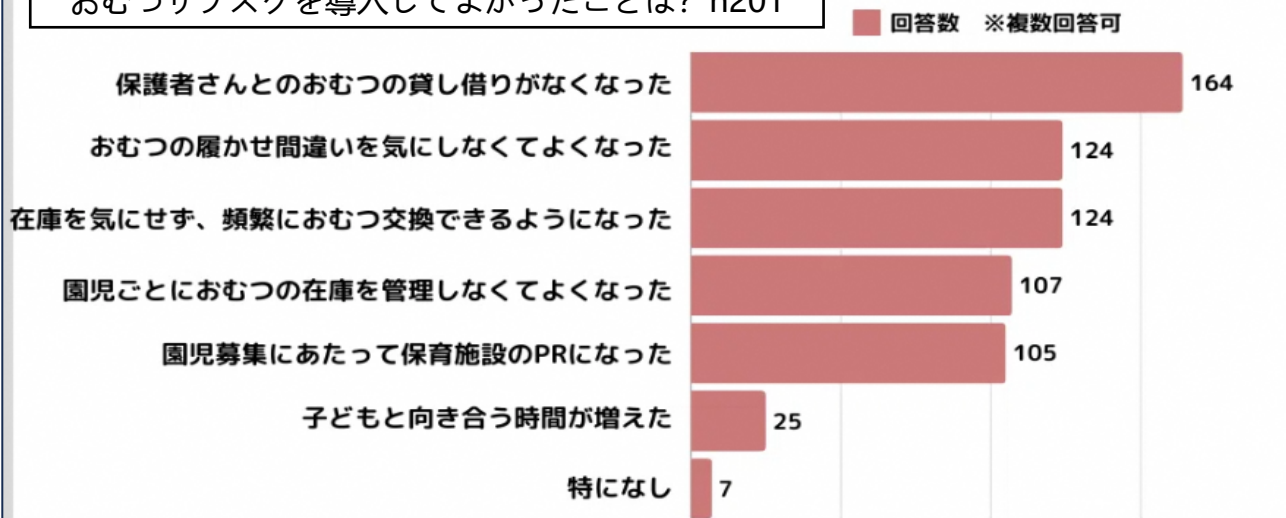
「混雑統計®」 ©ZENRIN DataCom



おむつの定額制サービス (baby jobHP より抜粋)



おむつサブスクを導入してよかったことは? n201



☹️ おむつサブスク導入前



おむつとカゴの名前が一致するように補充するため手間がかかる💧

😊 おむつサブスク導入後



おむつのサイズごとに補充するため、手間がかからない💡